

2016 3/8

No.2014

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



五穀豊穡（ごこくほうじょう）などを願う祈年祭「田打舞神事」が2月17日、寒川神社で行われた。翁（おきな）の面を着けた神職らが神楽歌に合わせ、米作りの動作を表現した八つの舞を奉納した。



contents

視点・点描	3
「ムサコマダム」に習おう	
経 済	4
TPPの負担集中避けられず 「勝者の利益」再分配で支援を	
経 済	6
食の不祥事を防ぐ手立ては… 「予見力」「回避力」の視点から	
国 際	8
ベトナム、加工品輸出で高成長 原油安が個人消費を下支え	
くらし2016	10
非結核性抗酸菌の肺感染	
広告珍談	12
広告はたのしい⑪ 日本最初のバス	
NNAアジア経済リポート	13
会員のページ	14
設立50周年は4月に(その20)講演録抄録⑩ 会員の動き	
会員のページ	15
設立50周年は4月に(その20)講演録抄録⑩	

事務局だより

◇設立50周年記念講演会、 会員交流会

2016年4月19日(火)

ホテルニューグランド

▽記念講演会

14時～15時

本館2階「レインボーボールルーム」

講師は歌手、女優のあべ静江さん

演題は「私の歩いてきた道～みずいろの手紙と私」

▽会員交流会

15時15分～16時30分

タワー館3階「ハリー来航の間」

視点 点描



「ムサコマダム」に習おう

川崎市民の「買い物に行く場所」として「武蔵小杉駅周辺」が2位に浮上。川崎信用金庫が昨年、冬のボーナス調査に合わせて行ったアンケートの結果に注目している。

1位は「川崎駅周辺」で42%だが、前年に比べ2割減少。武蔵小杉は21%で、初めて2位となり、2年前の10%から倍増した。これまで同地区の商業の躍進ぶりを表

す数字がほとんどなかったからだ。前年2位の横浜駅周辺は5割減の17%で3位に落ち、みなとみらい21地区なども減少し、消費の市外流出を押しとどめた形だ。

武蔵小杉東急スクエア、さらにはラス武蔵小杉、グランツリー武蔵小杉と2013年から続々とショッピングセンター（SC）が開業。いずれも駅に近く、明るくしゃれた店舗で、土日など多くの

人でにぎわっている。SC関係者は「来客の増加という面では落ち着いてきたが、横浜や都内からも消費者を呼び込み好調」という。

横須賀線の武蔵小杉駅が10年に開業し利便性が飛躍的に向上。東急とJRの1日平均の乗降客は震災後、毎年6千～2万人増加し、14年度で1日延べ約33万人だ。

そこで生まれたのが「ムサコマダム」「ムサコママ」。07年ごろから始まったタワーマンションの建築ラッシュ。進出を前にSCの一つは、ここに住む主婦の服装やバッグ、靴、購読している雑誌など趣向を調査。おしゃれにも子育てにも熱心で、自然環境も重視する「いいとこどりの消費者」と分析。年収1千万円以上の30～40代の「ムサコマダム」をターゲットにした店づくりが行われたという。

これが当たり、ブランドや品ぞ

ろえてつくられたイメージが、消費者のあこがれに。地区の基準地価（商業地）は、14年7月時点で13・3%と3大都市圏でトップの上昇率。関東の住みたい街ランキングで昨年、5位に躍進した。

対抗する形で川崎駅周辺にも動きが出てきた。川崎の風物詩となっている「川崎ハロウィーン」に、この10月、初めて西口のラゾーナが加わった。「武蔵小杉に対する危機感の表れ。一体となって地域を盛り上げるのはいいこと」と市幹部。地下街アゼリアも16日にリニューアル。まだまだ潜在能力の高い川崎市。「ムサコマダム」のように消費者のニーズを見極めて、魅力づくりや街づくりを進め市域全体の商業が発展するよう連携を進めてほしい。

（神奈川新聞社川崎総局長

瀧村 誠）

日本最初のバス

まず図の広告から。

「機械完全能、外国製に勝る

中根式自動車」。大阪の中根鉄工

所が1903（明治36）年11月、

掲出した新聞広告である。

左端に小さく、「当所は京都乗

合自動車二井紹介へ出資加盟いた

し候」とある。この乗合自動車は、

京都市内で運行された日本最初の

バスである。その年9月、京都駅

から祇園八坂神社まで。蒸気式自

動車のバス、2台が走った。

運行したのは《二井商会》。オー

ナーは西陣の織物商・福井久兵衛

と坪井菊次郎。福井と坪井、2つ

の「井」だから社名は二井。中根

鉄工所が出資した、バス会社であ

る。

二井は大阪天王寺で開かれた、

第5回内国勧業博覧会を見物。外

国から出品されたいくつかの自動

車に、事業の将来性を確信。横浜

の外国商社から、蒸気式自動車1

台20000円を、2台購入した。

揮発油を圧搾空気でバー

ナーに送り、高温度の蒸気

を発生させ、ピストンを動

かす仕掛けの6馬力。丸い

ハンドルではなく、長い棒

をあやつって操縦する。

いざ営業許可をと府庁へ

申請に行くと、すでに2人

が出願していた。それでも

認可され、新聞各紙に「来

ル廿日ヨリ開業、途中昇降

御随意」と広告をだした。

いわば、日本最初のバス広

告である。

いよいよ走りだした（広

告のイラストでは右を向い

て）が、商売がたきと人力車が妨

害。バスはすばらしいと楽隊でア

ピールしたり、タバコを景品につ

けたりと、宣伝につとめたが効果

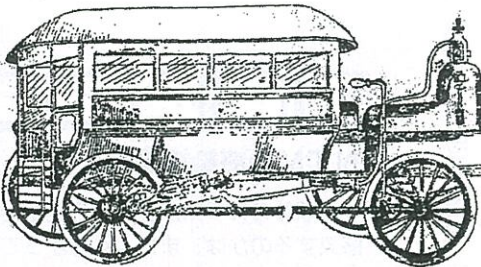
なし。資本金を増額して第一自動

車株式会社改組。それでもダメ、

4ヵ月目に廃業した。

おなじ年、広島でもバスが走っ

機械完全能、外国製に勝る



中根式蒸気自動車

価格尤も低廉ナリ

大阪西區立寄町二丁目明治橋南詰

中根鐵工所

當所ハ京都乗合自動車二井商会へ出資加盟致シ
付目今、各道主、商會ニ於テモ同様に取引アリ

た。しかし馬車組合が大反対、半

年間でダウン。ようやく本格的に

バスが走り出したのは19（大正8）

年、東京であった。

広告にもどる。「世の進歩にと

もないままます交通機関の必要を

生ずるに際し、わが工場に於いて、

内地にて率先し、蒸気式自動車の

製造・設計中」。「目下十人乗り製

造中」「ぞくぞく御注文あらんこ

とを乞う」。「価格もつとも低廉な

り」と。

バスの始まりはイギリス。1825

年、馬車に代わる乗り物をと蒸気

エンジン付きで開発。馬車業界の

反対で衰退。95年、ドイツで定員

8人のベンツ製バスが定期運行を

開始。ダイムラーとベンツが、初

めてガソリン自動車を開発して10

年後であった。

（美術エッセイスト、茅ヶ崎市在住）

（図）最初期のバスの広告・1903

（明治36）年11月、京都の新聞に

掲出